

平成24年度から

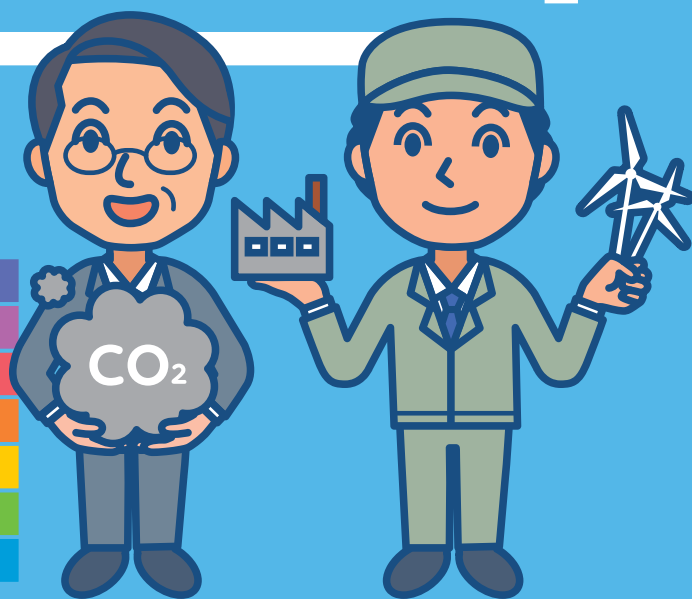
カーボン
マネジャーの

キャリア 段位制度

～国家戦略・プロフェッショナル検定～

が始まります!

「実践キャリア・アップ戦略」の
推進により、カーボンマネジメント
分野の人材育成を
行います。



内閣府

1

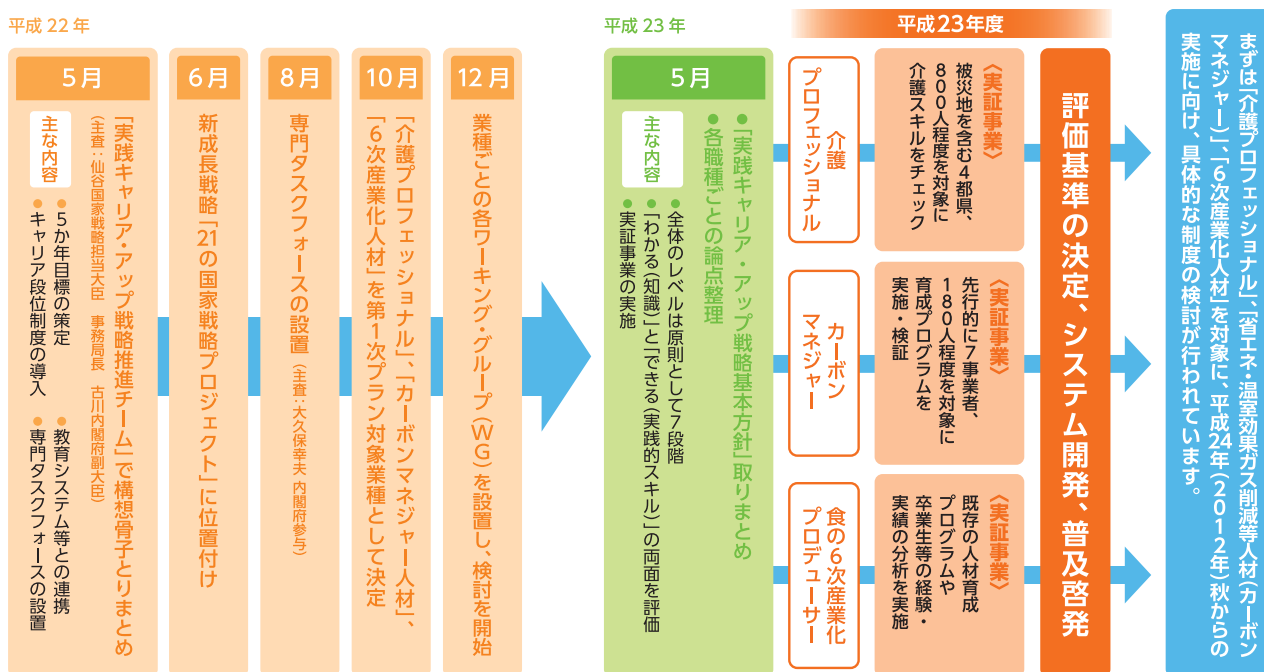
実践キャリア・アップ戦略 って何？

あまり聞きなれない
言葉だけど、
どういふことをするもの
なのかな？



- 「実践キャリア・アップ戦略」は、部長や課長という「肩書」ではなく、「キャリア」や「能力」で評価される社会、プロフェッショナルとして誇りをもって生きられる社会を目指しています。
- このような目的のために、成長分野における新しい職業能力を評価する「キャリア段位制度」や、それを取得するための「育成プログラム」やジョブ・カード等の成長分野に「労働移動を促す仕組み」を含めた戦略が進められています。

■実践キャリア・アップの推進



ここがポイント!



- 平成24年度よりキャリア、能力のレベル認定制度がスタート
- 「肩書」ではなく、「キャリア」や「能力」が評価される社会の実現へ
- 「食の6次産業化」、「介護」、「カーボンマネジャー」が対象業種

2

キャリア段位制度とは？

「キャリア段位制度」は、成長分野における新しい職業能力を評価する仕組みであり、企業等の間での共通のものさしをつくり、人材育成を目指すものです。

- これまでの資格制度で不足していた「実際にその職業についての程度の職務の遂行ができるのか」という部分を補うため、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価します。
- 介護プロフェSSIONAL分野については、既存の国家資格制度や研修制度との関係も考慮し、特に、実践的スキルについて重点的に評価します。
- エントリーレベルからプロレベルまで、7段階でレベル認定を行います(キャリア段位)。



プロレベル



ここがポイント！



- 企業間で能力を評価する「共通のものさし」をつくり人材育成を目指す
- エントリーレベルからトップ・プロレベルまで7段階のレベル認定
- 「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価

3

カーボンマネジャー について

■「カーボンマネジャー」とは？

省エネや温室効果ガス (GHG) 排出削減・吸収を進めるための様々な取組に関する診断 (審査・検証等を含む)、実効力のあるアドバイス、及びその実践を行うことができる専門家です。

- ➔ 低炭素社会実現の中核として活躍できる人材です。
- ➔ 「省エネ分野」と「温室効果ガス排出削減・吸収分野」の双方の知識・技能を体系的に身につけ、両分野の橋渡しとなる新成長分野の人材です。



■いま、なぜ「カーボンマネジャー」が必要とされるのか？



我が国は世界最高水準の省エネ技術を持っていますが、エネルギー自給率が低いため、更なる省エネや再生可能エネルギーの導入等、エネルギーの総合的なマネジメントの推進が非常に重要です。



そのため、我が国全体でのエネルギー使用の合理化や、温室効果ガスの排出状況や削減ポテンシャルについて、きめ細かい把握と具体的な取組が必要です。



特に、東日本大震災以降、電力需給が逼迫している中で、節電対策と企業活動やライフスタイルの転換が課題となっているなど、省エネや再生可能エネルギーの導入拡大のための取組が進められています。



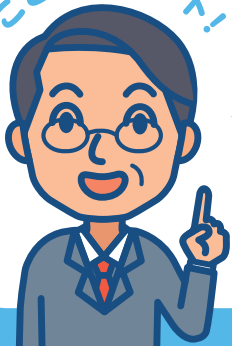
関連する法制度や対策の高度化に伴い、広範かつ専門的な知識や経験を持った人材が求められています。

「カーボンマネジャー」に認定されると

「カーボンマネジャー」として、より高いレベルの認定を受けることにより、省エネから炭素クレジット取引まで幅広い知識を持ち、エネルギーとCO₂の総合的なマネジメントができることを広くアピールできるようになります。



ここがポイント！



- カーボンマネジャーとは低炭素社会実現の中核として活躍できる人材のこと
- 認定されると、自らが持つエネルギーとCO₂の総合的なマネジメント能力を広くアピールできる